

文化財マップ

安武・津福校区の文化財

安武・津福校区の文化財

昭和60年、久留米市安武町と佐賀県北茂安町との間の筑後川に、延長501mの可動堰「筑後大堰」が完成しました。灌漑・都市用水として筑後川より取水された水は、筑後地区だけでなく遠く福岡市までも豊かに潤しています。

ここに紹介する安武・津福校区一帯は、筑後川が有明海に向けて大きく南に蛇行する部分に位置し、古代から幾度となく洪水の被害を受けたと同時にこの地に豊かな土壌をもたらしました。最近まで風景として残っていた道路や畦、クレークなどの景観が、農地改良事業などによって大きな変化を遂げました。

昭和61年より本格的に始まった安武地区の圃場整備事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査によって数多くの遺跡が発見されました。中でも縄文時代の狩りのための落とし穴が多く見つかった庄屋野遺跡、弥生時代の一大集落であった塚畑遺跡、奈良～平安時代では市指定史跡となった野瀬塚遺跡や、多くの墨書土器が出土した念仏塚遺跡などの発見は、不明な点が多かった安武一帯の古代の様子を知る重要な手がかりとなりました。また今も残る北山古墳は、安武・津福校区内にある古墳の中では唯一、発掘調査が行われ、貴重な土器が出土しています。

鎌倉時代になると「安武村」や「津福村」などの地名が古文書に登場するようになり、戦国時代にはこの地域で勢力を張っていた安武氏の居城である海津城などの名前も見られます。江戸時代には久留米城と柳河城とを結ぶ柳河往還（現在の県道久留米・柳川線）や、府中（今の御井町）へ向かう府中道などの道路網が整備され、元禄年間（1688～1703年）に柳河往還沿いに築かれた目安町の一里塚は、市内で唯一残るものです。

現在、安武・津福校区の文化財は、一般に知られているものが少なく、課題が残されていますが、今後、調査が進めば新たな発見や情報を提供できる可能性があります。地域の歴史を知る手がかりとして、あなたもこの『文化財マップ』を活用してみませんか？

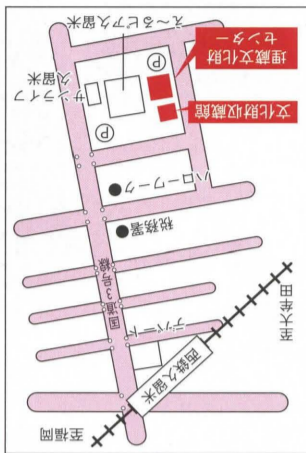


筑後大堰

〔表紙〕塚畑遺跡出土の弥生土器

安武・津福校区の文化財マップ
 発行：久留米市教育委員会
 編集：教育文化財部文化財保護課
 平成14年3月31日

久留米市埋蔵文化財センター
 E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
 ☎0942-30-9225 ☎0942-30-9718
 久留米市城南町15-3（市役所16階）
 久留米市教育委員会 文化財保護課
 『文化財に関するお問い合わせ』
 ☎0942-34-4995 ☎0942-34-5045
 久留米市諏訪野町1830-6（えーるピア敷地内）



市内の遺跡から出土した土器や、図面・写真などの記録を収集・整理・研究するため、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、企画展として『ふるさとの歴史とふれあふ展』や毎年春には『文化財フェスティバル』、秋には『考古資料展』を開催し、合わせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。

歴史に興味のある方もお気軽にお越しください。

開館時間：午前9時～午後5時
 休館日：土・日・祝祭日・年末年始
 入館料：無料



“上手にできるかな？”体験学習「勾玉づくり」の様子

久留米市埋蔵文化財センターのご案内

■こんなにあるぞ！安武・津福校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	山浦川底遺跡	弥生～室町	川底の砂を採るときに、土器が出土しています。
2	海津城跡	室町	安武安房守の居城と伝えられ、中国産の陶磁器をはじめとする食器などが出土しています。また海津城の名は安武小学校の校歌にも登場します。
3	碓遺跡	弥生～江戸	昔の筑後川に沿った島状の高まり部分から、様々な時代の井戸が見つっています。
4	垣添遺跡	不明	時代は分かりませんが、勾玉が見つっています。
5	住吉番所跡	江戸	かつて港町であった住吉に置かれた、船人の往来を取り締まるための番所跡です。
6	ふうりん山古墳	古墳	円墳で、鉄製の鎧や刀などが出土したと伝えられています。今は残っていません。
7	浦頭古墳	古墳	円墳で、金の玉が出土したと言われています。今は残っていません。
8	ころび塚古墳	古墳	金の耳飾りが出土した円墳で、今は残っていません。
9	経塚古墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
10	汐入遺跡	弥生・奈良	弥生時代の甕棺墓と、奈良時代の建物跡が見つっています。
11	屋敷遺跡	弥生	貝塚があったのではないかと考えられています。
12	城崎遺跡	古墳・室町	古墳時代の土器や、室町時代の建物跡が10軒以上見つかりました。
13	西鳥遺跡	古墳 室町～江戸	古墳時代の井戸や室町時代の屋敷跡に加え、江戸時代のお墓が500基以上見つっています。
14	東鳥遺跡	弥生	竪穴住居・高床建物・井戸などが見つかり、弥生土器や石器がたくさん出てきました。
15	塚畑遺跡	弥生	400軒以上の竪穴住居や高床建物、溝などが見つかり、たくさんの弥生土器や石器が出土しました。久留米の弥生時代を代表する大きなムラです。
16	庄屋野遺跡	縄文～弥生 奈良	縄文時代の落とし穴、弥生時代の環濠、奈良時代の大きな屋敷跡が見つっています。また地震による地割れ跡も確認されました。
17	柳河往還	江戸	1603年、田中吉政により、久留米城と柳河城を結ぶための道が整備されました。
18	念仏塚遺跡	奈良～平安	井戸や鍛冶工房の跡が見つっている他、墨書土器（墨で文字が書かれた土器）も出土しています。
19	往還西古墳	古墳	現在は納骨堂があり、古墳の高まりが残っています。
20	坂本1号墳	古墳	昭和62年度の発掘調査で周溝（古墳の周りに掘られた溝）が見つかりましたが、今は残っていません。